

5. 看護職員として必要な基本姿勢と態度についての評価表

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人のできる

A. 看護職員としての自覚と責任ある行動		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	「看護者の倫理綱領」を知っている				91.1	52.1
2	医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護することができる				97.9	66.2
3	看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動することができる					87.1
4	職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動することができる				99.3	75.9
5	プリセプター、先輩看護師に自分の考えが言える					87.7
B. 患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立						
1	患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握することができる				96.6	39.7
2	患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接することができる					82.9
3	患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得ることができる				95.2	41.8
4	家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援することができる				88.3	30.3
5	守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮することができる					93.9
6	看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接することができる					87.0
C. 組織における役割・心構えの理解と適切な行動						
1	病院及び看護部の理念を理解し行動することができる				98.6	55.2
2	病院及び看護部の組織と機能について理解することができる				97.9	50.0
3	チーム医療の構成員としての役割を理解し協働することができる				99.3	67.3
4	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとることができる				100	74.1
D. 生涯にわたる主体的な自己学習の継続						
1	自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつけることができる				98.6	64.4
2	課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動することができる				99.3	56.8
3	学習の成果を自らの看護実践に活用することができる				99.3	51.7

黄色は、ラダー評価表と一致しているもの

塗りつぶした項目は、1年後に「3：一人のできる or 知っている」評価になっていることを目指す項目と考えた。その他の項目は、病棟により体験の有無があるため、「2」か「3」であることが望ましい項目と考えた。

H19年度1年後に「3」の割合
(左隣は「3+2」の割合)